

事業コード	H19-建-継-19		区 分	国庫補助 県単独
事業名	火山砂防事業		部局課室名	建設交通部 河川砂防課
事業種別	砂防えん堤工		班 名	傾斜地保全・砂防班 (tel) 018-860-2532
路線名等	鹿の沢		担当課長名	河川砂防課長 萩野 敏明
箇所名	男鹿市船川港		担当者名	主幹(兼)班長 荒木 洋
総合計画との関連	政策コード	C	政策名	快適で安全な生活を支える環境づくり
	施策コード	03	施策名	災害に強い県土づくりと危機管理体制の充実
	指標コード	05	施策目標(指標)名	土砂災害危険箇所整備率

1. 事業の概要

事業期間	H14 ~ H20 (7年)		総事業費	5.7億円	国庫補助率	5.5/10	
事業規模	砂防えん堤工2基						
事業の立案に至る背景	<p>当渓流は男鹿国定公園内の寒風山に源を發し、保全対象として人家26戸やJR男鹿線、国道101号、市道等を抱える渓流である。</p> <p>従来より進行していた溪岸侵食に加え、平成13年4月10日に山火事が発生したことから流域の荒廃が進み、土砂が著しく流出して溪床に厚く堆積し危険な状態になっており、今後の豪雨等により堆積土砂が土石流化する危険性が高い。また、下流保全対象にはJRや国道などの重要な路線もあることから、土石流発生の際には甚大な被害を及ぼすことになる。</p> <p>このことから、砂防施設整備をもって土砂災害から地域住民の人命や財産を保全するものである。</p>						
事業目的	<p>主たる目的 砂防施設を配置することにより、流出土砂による被害を未然に防止し、土砂災害から住民の生命・財産を守る。</p> <p>保全対象 人家26戸、国道L=100m、町道L=1,200m、JR男鹿線L=500m、耕地3.0ha</p>						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等		
	事業費	566,000	566,000	0			
	経費内訳	工事費	485,000	487,800	2,800	工事用道路路床改良による増	
		用補費	45,000	40,300	-4,700		
		その他	36,000	37,900	1,900	工事用道路地質調査・設計増	
	財源内訳	国庫補助	311,300	311,300	0		
		県債	229,200	229,200	0		
その他		0	0	0			
一般財源		25,500	25,500	0			
事業内容	本工事 詳細設計 調査設計 用地補償	本工事 詳細設計 調査設計 用地補償					
事業の進捗状況	全体計画	5.66億円	平成18年度末投資額	4.56億円	進捗率	80.6%	
事業推進上の課題	特になし						
関連する計画等	「あきた21総合計画」第2期実施計画において、「災害に強い県土づくり」の施策として位置づけられている。						
情勢の変化及び長期継続の理由	事業は計画どおり順調に進んでいる。						
事業効率把握の手法及び効果	指標名	土砂災害危険箇所整備率					
	指標式	概成箇所数 / 危険箇所数					
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無		
	目標値 a	24.2 %		データ等の出典	危険箇所調査結果		
	実績値 b	22.3 %					
達成率 b/a	92.1 %		把握の時期	平成19年 3 月			

前回評価結果等	選定または継続	改善	見直し	保留または中止
	指摘事項			
	特になし			
	指摘事項への対応			
	特になし			

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	下流域には人家26戸やJR男鹿線、国道101号など地域生活や観光に密着した重要交通網を有しており、溪床には多量の不安定土砂が堆積していることから、今後の豪雨により土石流災害が発生し、甚大な被害となることが予想される。 このようなことから、地元からは砂防設備設置の要望が上げられており、対策の必要性は高い。	20点
緊 急 性	従来から進行していた溪岸侵食に加え、平成13年4月に山火事が発生したことで流域内の荒廃はいっそう進んでおり、不安定土砂の生産・流出が顕著なものとなっていることから、豪雨により土石流が発生する危険性が高い。これらが下流の人家や農地などの生活基盤に流出し、国道やJRが寸断されるなど甚大な被害が予想されることから、事業の早期完成が必要である。	10点
有 効 性	手段の妥当性 火山砂防事業は砂防法により都道府県知事が行うものとして位置づけられている。また、被害範囲に係る人家および公共施設すべての集団移転等の代替案の実現性は極めて低い。 整備効果 対策により、不安定土砂の流出を防ぐことが出来るので、保全対象である多数の人家や重要交通網の保全を図ることができ、有効性は高い。	10点
効 率 性	費用対効果 費用対効果は2.94であり、効率性は高い。 コスト縮減等の取り組み状況 えん堤のスリット化や残存型枠等の新工法の実施により、コスト縮減に積極的に取り組んでいる。	30点
熟 度	地域の状況 地元および男鹿市との合意形成が図られており、順調に事業が推進している。 事業進捗の見込み 予定通り、平成20年度の完成を予定している。 環境対策 型枠廃材の削減や再生資材の使用などの対策を講じている。	30点
判 定	ランク () 地元からの要望が高く「必要性」「有効性」「効率性」等から事業の重要性は高く評価できる。	100点
総 合 評 価	継続 改善して継続 見直し 中止 事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

引き続きコスト縮減に留意しながら事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を「可」とする。

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 砂防課所管事業

事業コード (H19-建-継-19)
箇所名 (男鹿市船川港)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	県民のニーズ	変化なしまたは増加している	20	20	
		若干低下している	10		
		非常に低下している	0		
	計		20		
緊急性	危険度	変化なしまたは増大している	10	10	崩壊進行、地下水位上昇等 地下水位低下、残斜面安定
	斜面、溪流等の危険度	若干低下している	5		
		非常に低下している	0		
	計		10		
有効性	災害発生時の影響	変化なしまたは増加している	10	10	
	保全対象数の変化	若干減少している (80%以上)	5		
		非常に減少している (80%未満)	0		
	計		10		
効率性	事業の効率性・進捗状況				
	費用便益分析 (B/C)	1.0以上	10	10	
		1.0未満	0		
	対策工法、工事に関連する課題	課題なし又は解決済みで順調な進捗が見込まれる	10	10	
		課題はほぼ解決済みであり、進捗に大きな影響はない	5		
		課題はあるが、解決する見込みである	3		
		課題解決の見込みなし又は事業が停滞している	0		
コスト縮減計画	具体的なコスト縮減計画がある	10	10		
	具体的な計画はないが、検討中である	5			
	コスト縮減計画無し	0			
計		30	30		
熟度	地元の協力状況				
	事業の進捗状況	計画どおり進捗している (100%以上)	10	10	
		概ね計画どおり進捗している (70%以上100%未満)	5		
		計画より遅れている (70%未満)	0		
	地元住民・関係自治体等に関連する課題	課題なし又は解決済みで順調な進捗が見込まれる	20	20	用地、補償物件等
		課題はほぼ解決済みであり、進捗に大きな影響はない	10		
		課題はあるが、解決する見込みである	5		
課題解決の見込みなし又は事業が停滞している		0			
計		30	30		
合計			100	100	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上 ~ 80点未満		
	優先度が低い	60点未満		